

学生生活に関する調査

(2023年11月～2024年2月実施)

回答数:163名 (回答率67.6%)

1年 48名(80.0%)(学生在籍数60名)

2年 42名(66.7%)(学生在籍数63名)

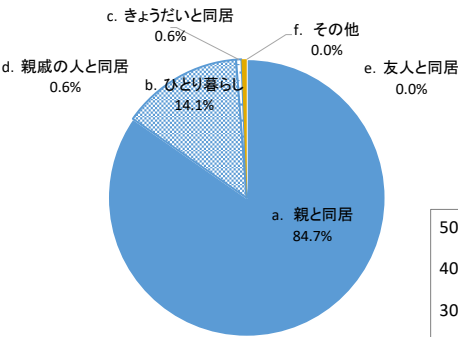
3年 27名(45.0%)(学生在籍数60名)

4年 45名(77.6%)(学生在籍数58名)

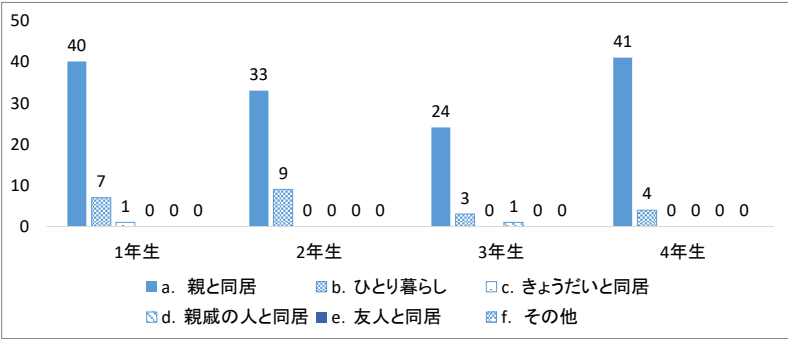
基礎データ、学習状況、経済状況、授業期間中の生活スタイル、その他の活動、心身の状況、VIII.
学生生活全体についての8項目に対し、e-learningで無記名回答を依頼した。回答率の低さと学
年別の授業の状況から複数回、協力を依頼し、調査期間に3か月を要した。

世帯(n = 163)

全学年



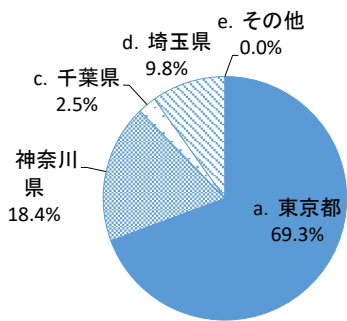
学年別



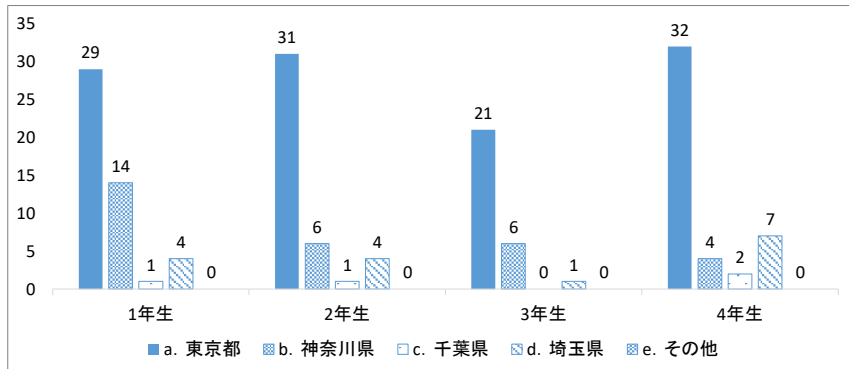
I .基礎データ

居住地(n = 163)

全学年

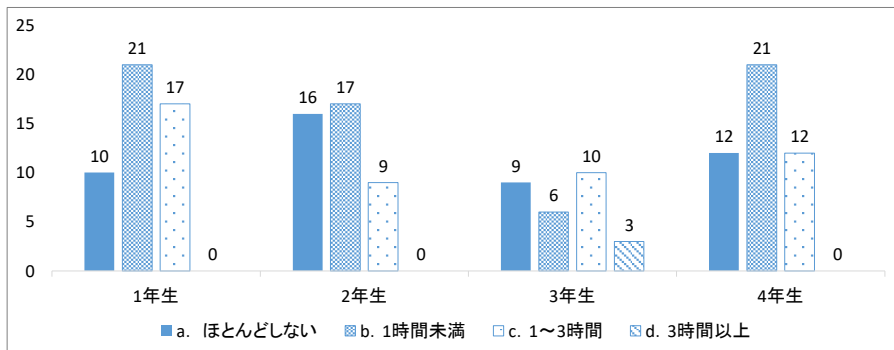
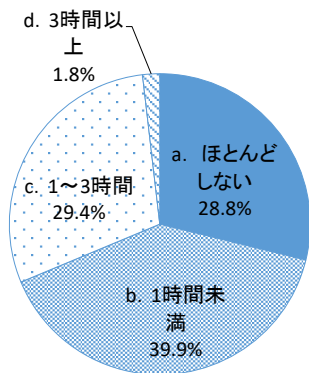


学年別



II .学習状況

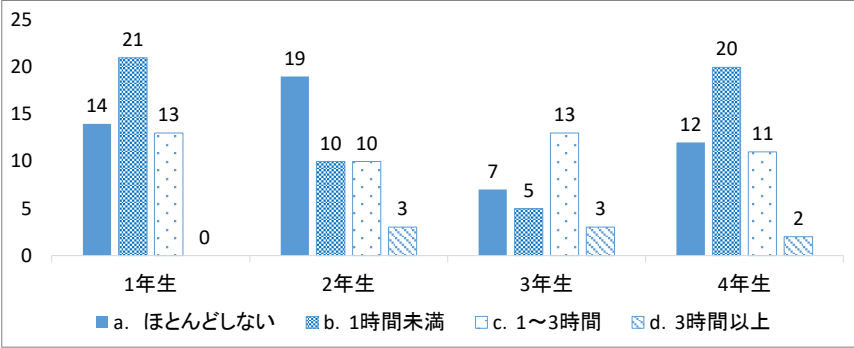
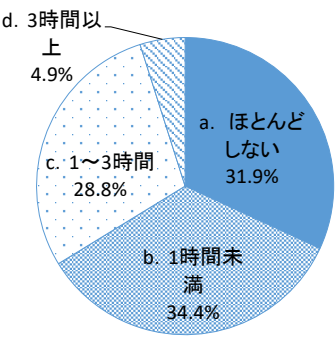
日々の予習時間 (n = 163)



日々の復習時間 (n = 163)

全学年

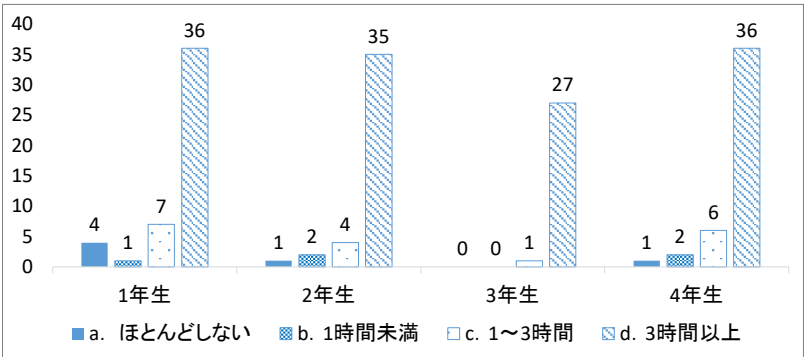
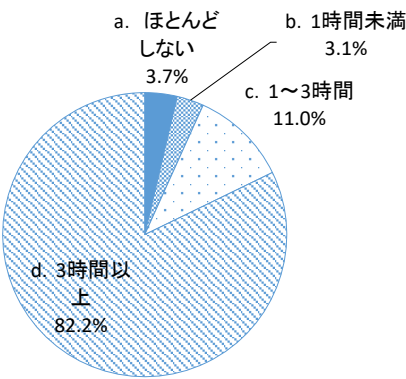
学年別



テスト期間前後の学習時間(週平均)(n = 163)

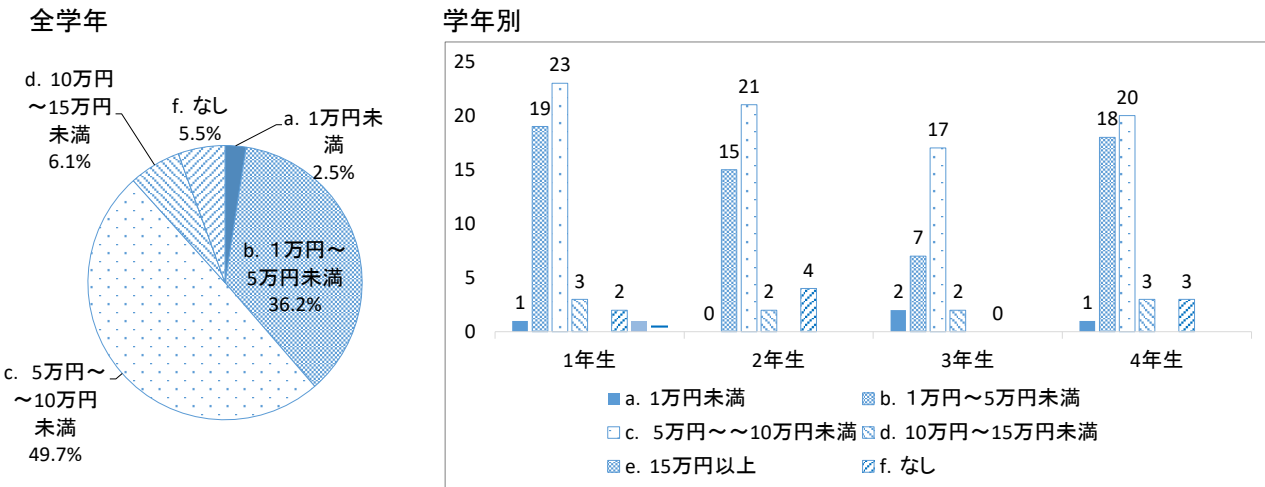
全学年

学年別

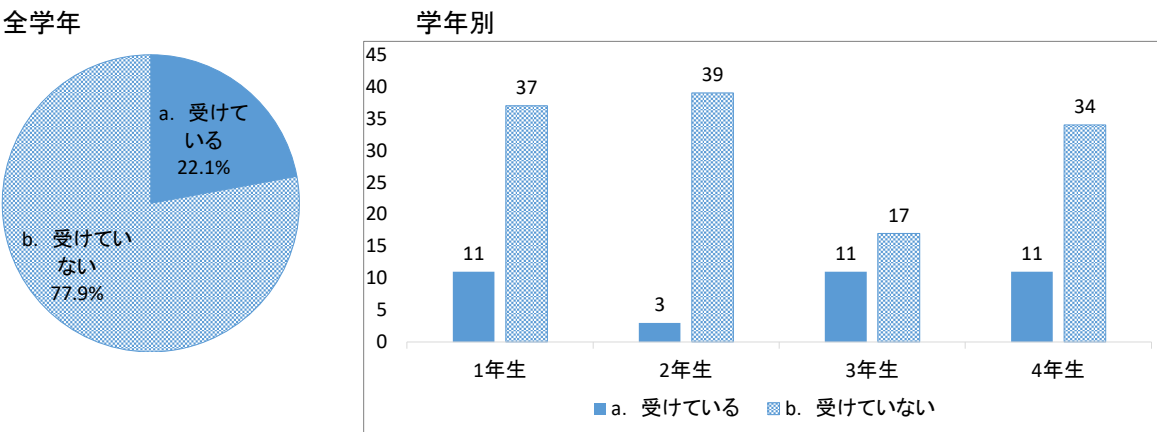


Ⅲ.経済状態

授業期間中の1か月のアルバイト収入額(n = 163)



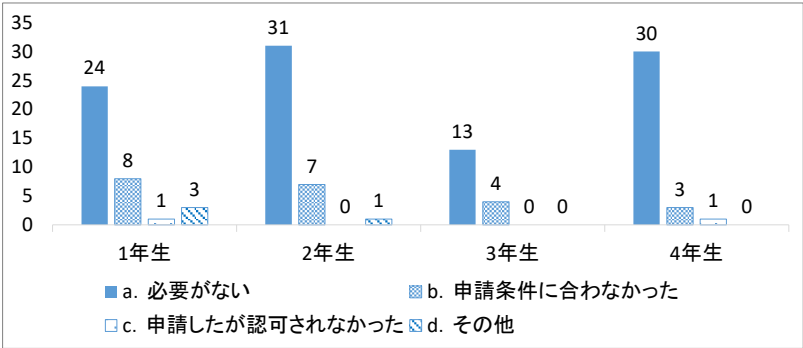
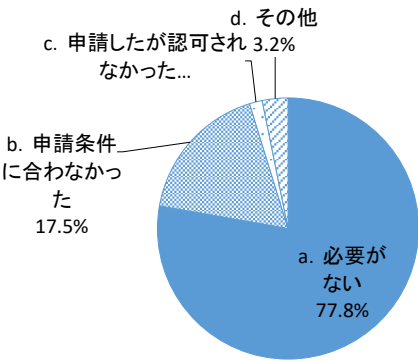
奨学金の利用(n = 163)



奨学金を受けていない理由(n= 126)

全学年

学年別

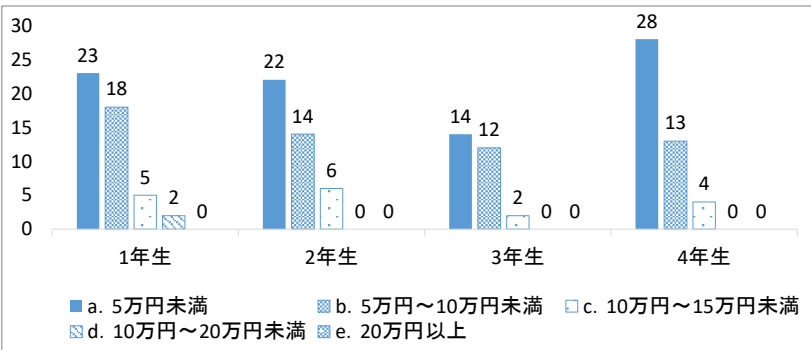
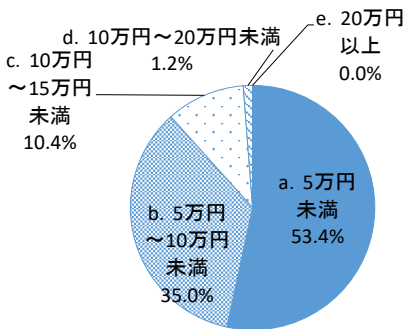


授業期間中の1か月の生活費 (家賃以外) (n= 163)

1か月の部活動・サークル活動費(n= 163)

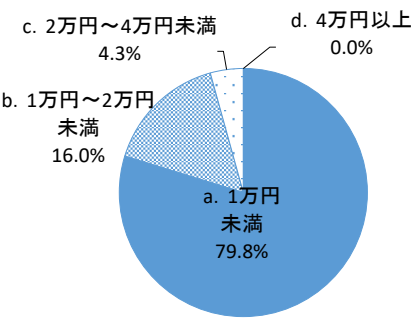
全学年

学年別

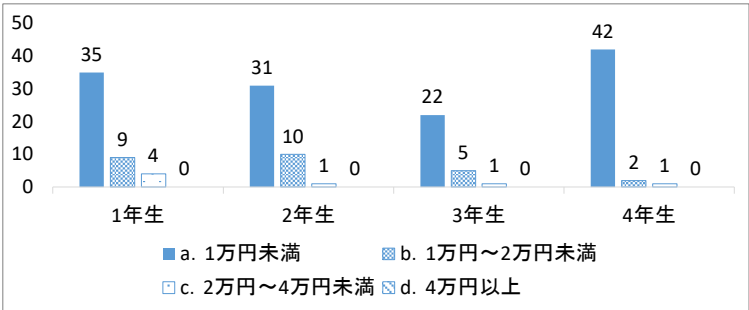


1か月の部活動・サークル活動費(n= 163)

全学年

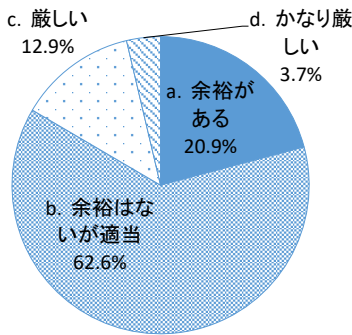


学年別

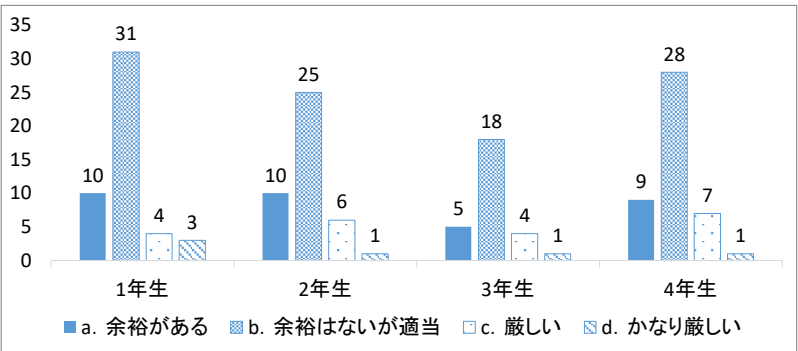


経済状態(n=163)

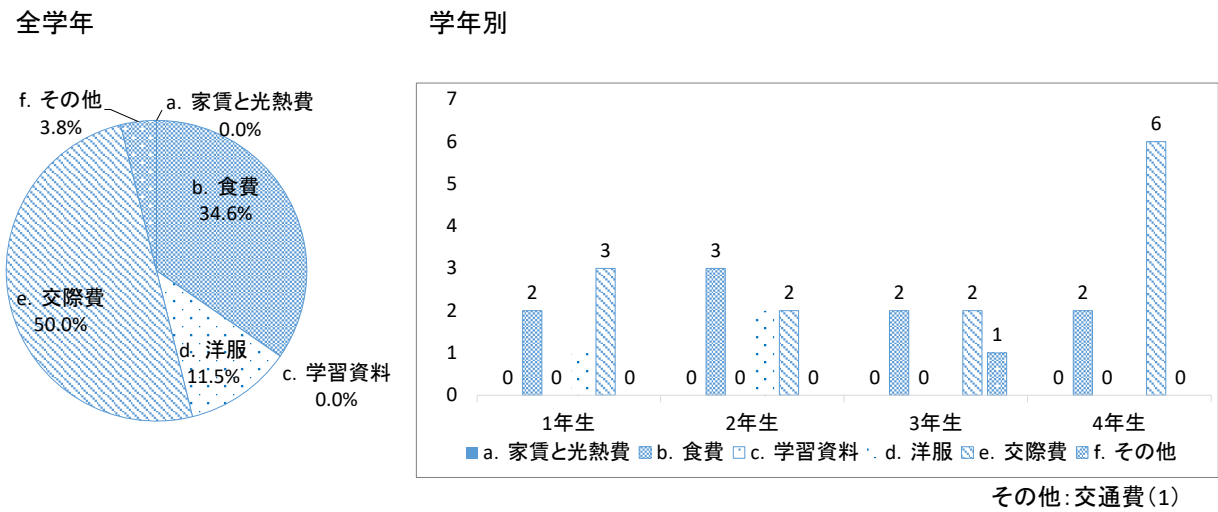
全学年



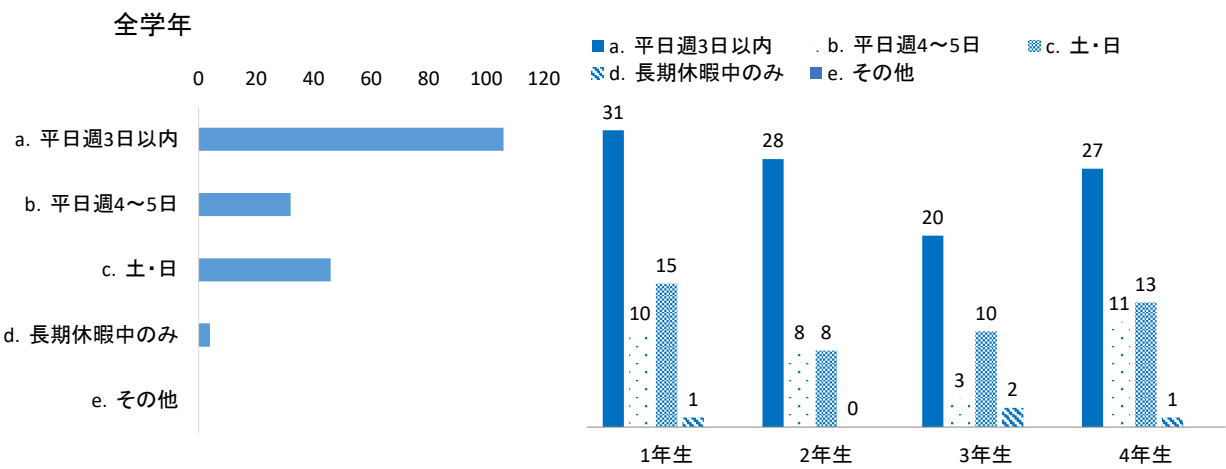
学年別



支出の中で調整が可能な費用(n=26)

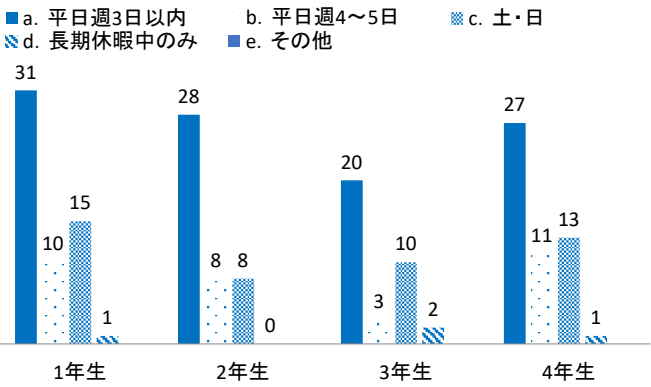


授業期間中の1か月のアルバイトの頻度(n = 154)

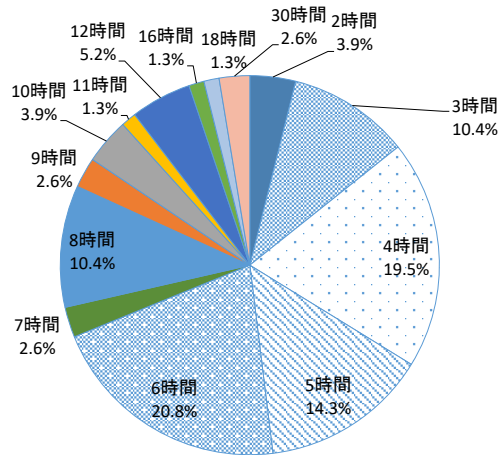


アルバイトの状況

アルバイトの頻度(n=154)



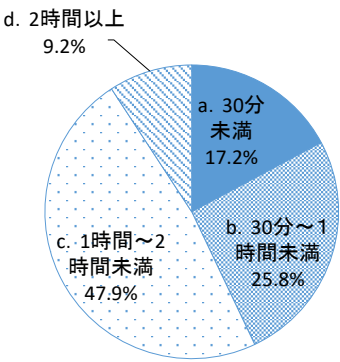
アルバイトの労働時間(1週間)(n=77)



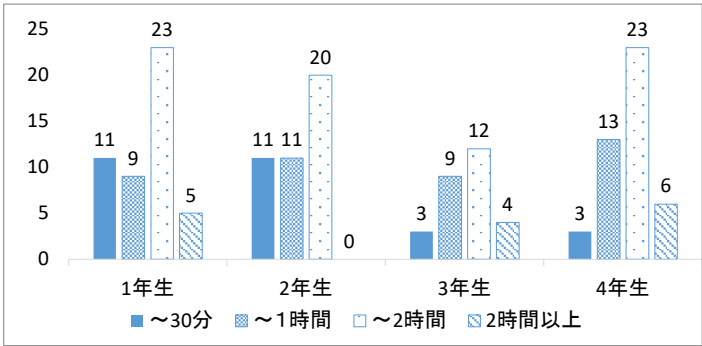
Ⅳ. 授業期間中の生活スタイル

通学時間(片道)(n=163)

全学年



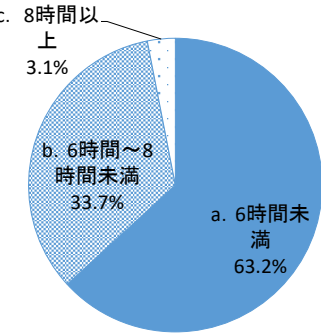
学年別



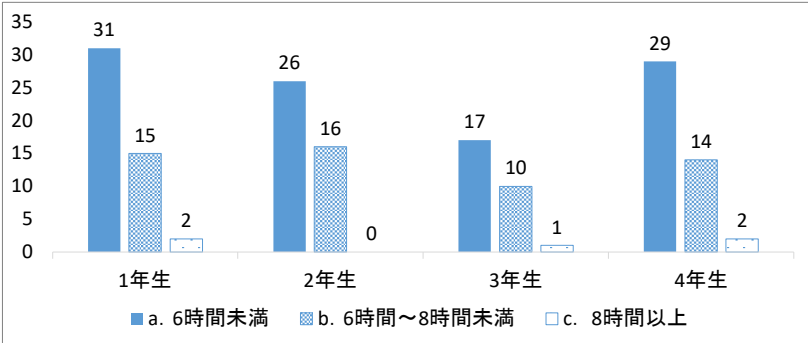
IV. 授業期間中の生活スタイル

平日の睡眠時間(n=163)

全学年



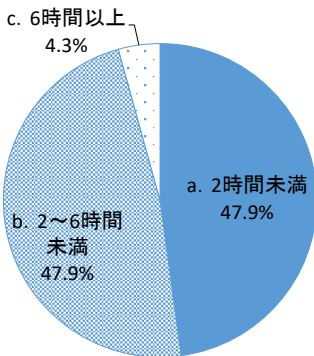
学年別



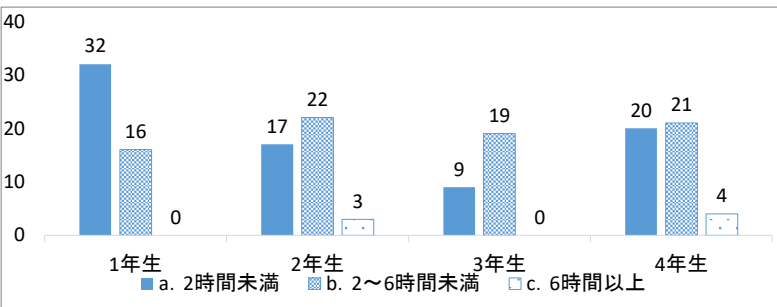
IV. 授業期間中の生活スタイル

遠隔授業や自宅学習のために自宅でパソコンを使用する1日平均時間(n=163)

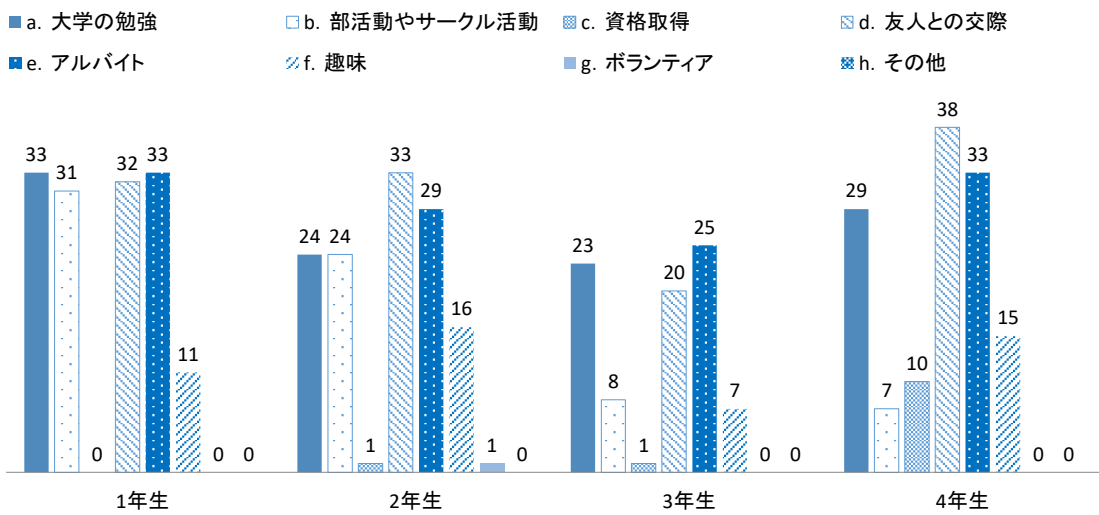
全学年



学年別

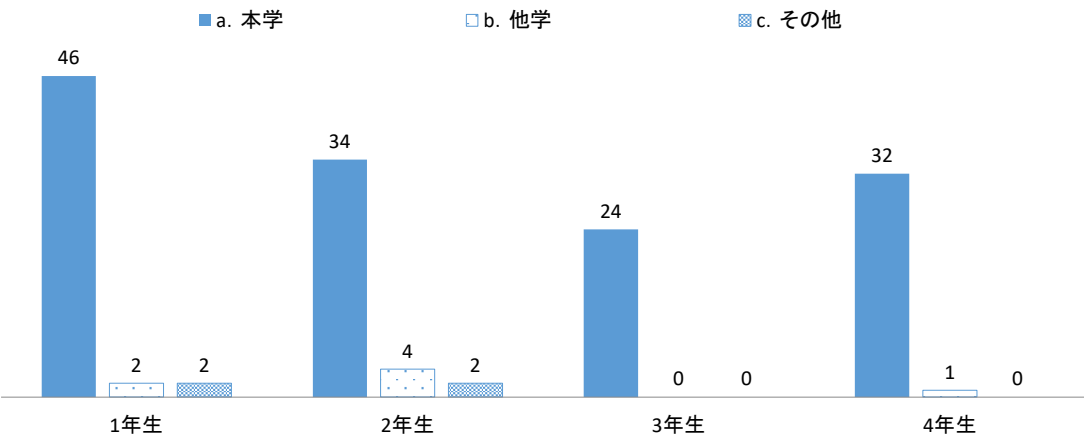


優先している活動(3つ回答可) (n=163)



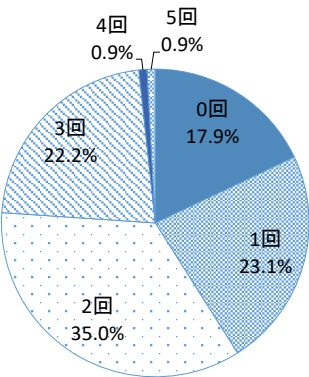
V. 部活動・サークル活動

所属(n=139)

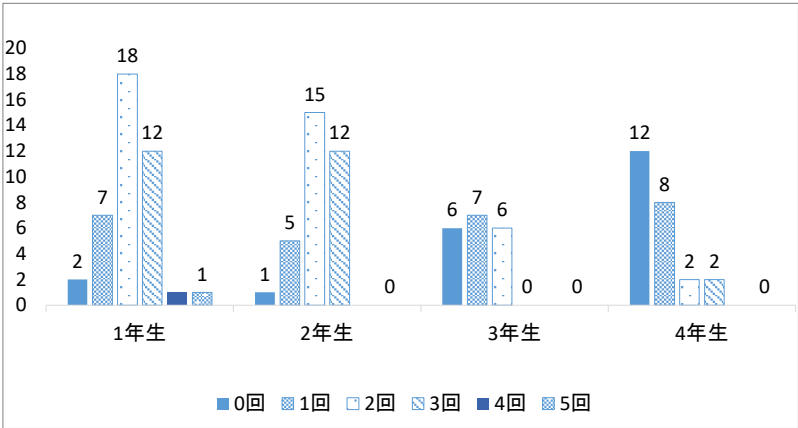


部活動・サークル活動の参加頻度(週平均) (n=139)

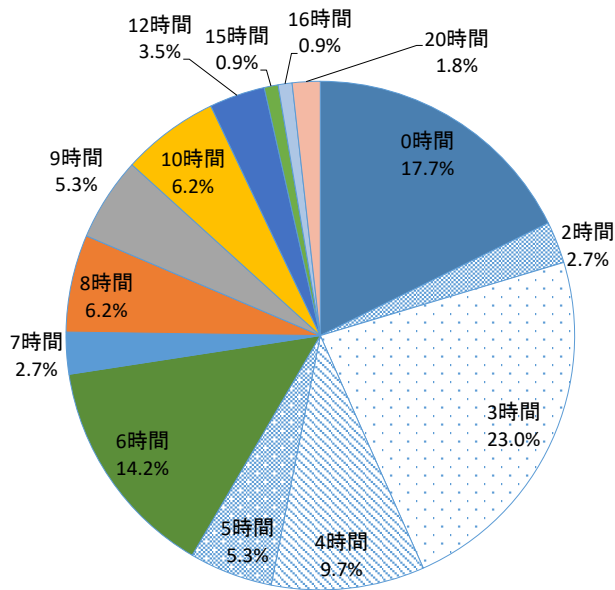
全学年



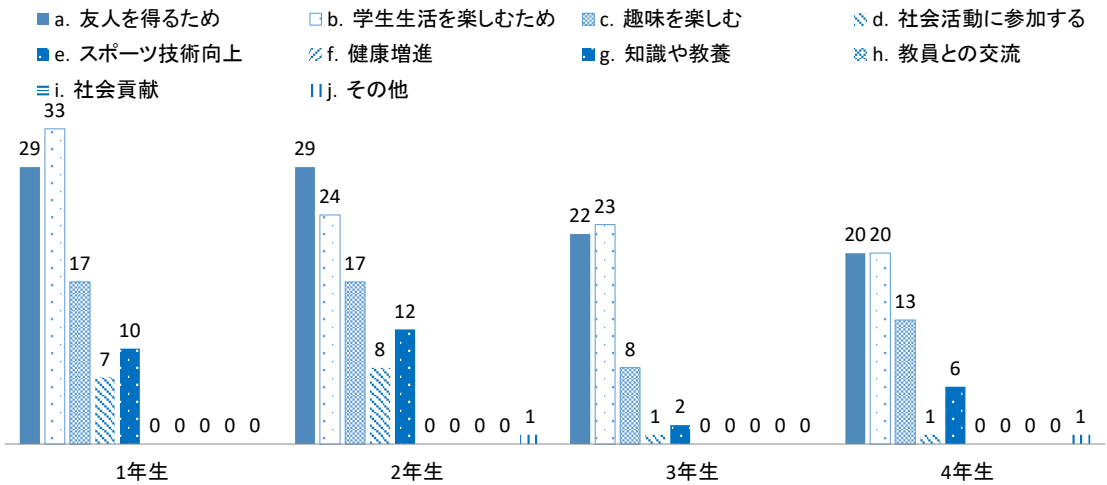
学年別



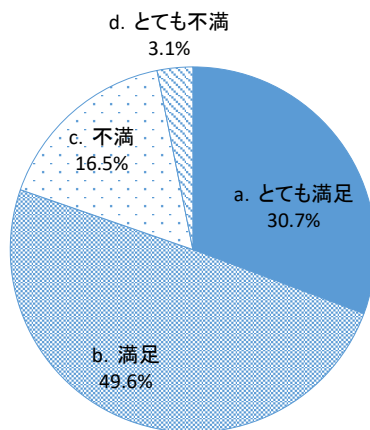
参加時間(週平均) (n=113)



部活動に参加する目的(複数回答) (n=126)



現在参加している部活動・サークル活動に対する満足度 (n=126)



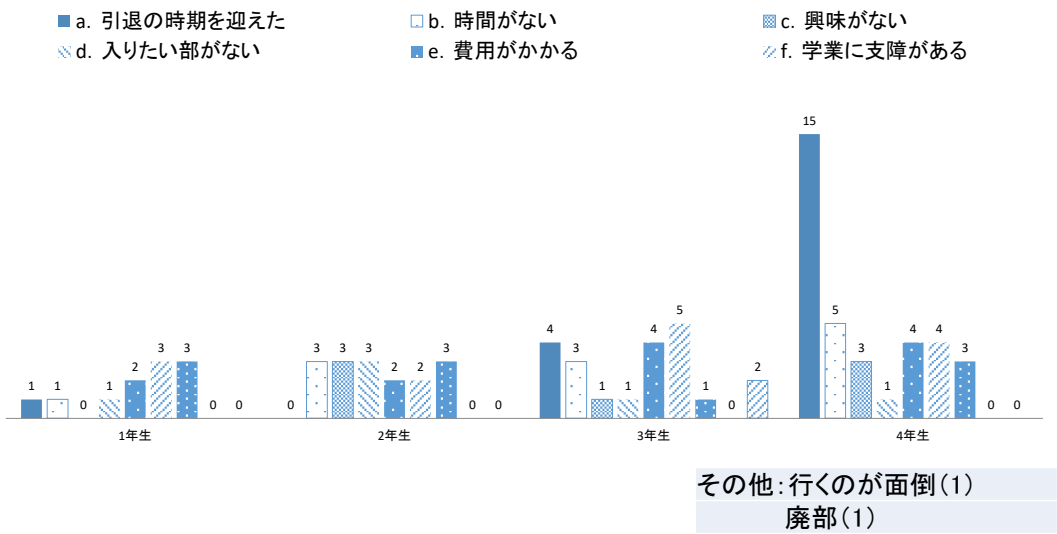
部活動・サークル活動に対する満足の理由

1年生	自分の生活リズムを崩す回数ではないから
	他学年と楽しく関わりをもっているから
	楽しいから(6)/パワハラもなく楽しい(1)
	部費などのお金結構かかるため
2年生	先輩方がよくしてくれるから。
	楽しんで学業と両立することができているから。趣味のダンスをすることができているから。
	気が合う友達と出会えたから
	他大学との交流もできて、コミュニティが広がった。
3年生	楽しく参加出来ていることがほとんどだが、たまに気になること、嫌なことがあるから
	活動頻度が今の生活に合っているから。
	大学以外の友達ができるから
	楽しい(6)
4年生	活動は楽しいが、当初思っていたよりも費用がかかる
	良くも悪くも色々な先輩がいっぱいいるが、同級生がとても優しく出会えてよかったと思えるから。
	部活の雰囲気も良く、楽しいから(1)引退したが、楽しかったから(1)
	楽しいが実費が多い
5年生	満足だが新型コロナで3年間活動できず、もう少し活動したかった思いがあるため。
	部活に何も求めているいないため。
	可もなく不可もなくだから
	交友関係が広がった、運動不足の解消になっている
6年生	自由に参加できるから
	医看たくさんの人と仲良くなれた。

部活動・サークル活動に対する不満足の理由

1年生	忙しい、マネージャーの仕事が好きではない
	会費が高い
	イベント費が高い
	面倒くさい
2年生	活動が無いから。
	サークルではなく部活のため休みづらい。試合で日曜が潰れることがあり、疲れる。
	試合により土日潰れる。
	忙しい
3年生	人間関係があまり好きでない
	合宿費が高すぎる。
	実習のため参加できていない。
	無所属
4年生	そもそもコロナ禍でできなくて、できるようになった日には実習に入ってしまったから。
	コロナ禍で全く活動を行っていないのに、部費や飲み会代を徴収された。
	部活の飲み会参加が必須プライベートな欠席理由をしつこく聞かれる
	コロナで活動できなかった

クラブ活動等に参加していない、または参加を途中で辞めた理由 (n=45)



その他の活動への参加 (n=45)

その他

医療用ガウンづくり

公共施設での教育支援

点字メニューの作成

小学生の給食、下校、授業のサポート

落ち葉清掃、祭りの手伝い

0～2歳児の保育補助、イベントの会場設営、手話サークル

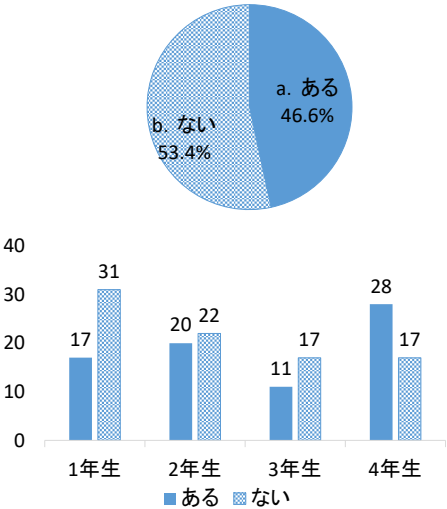
教育関係

教育関係

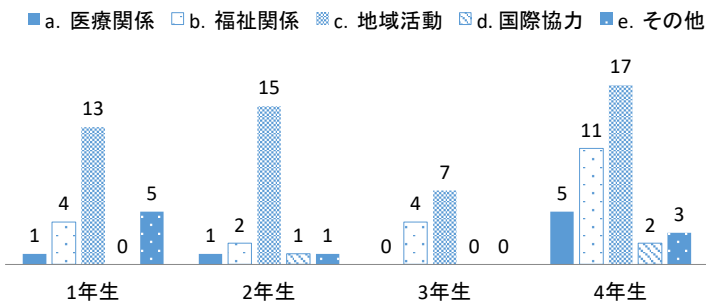
ラブジャンクスのライブのボランティア

VI.その他の活動

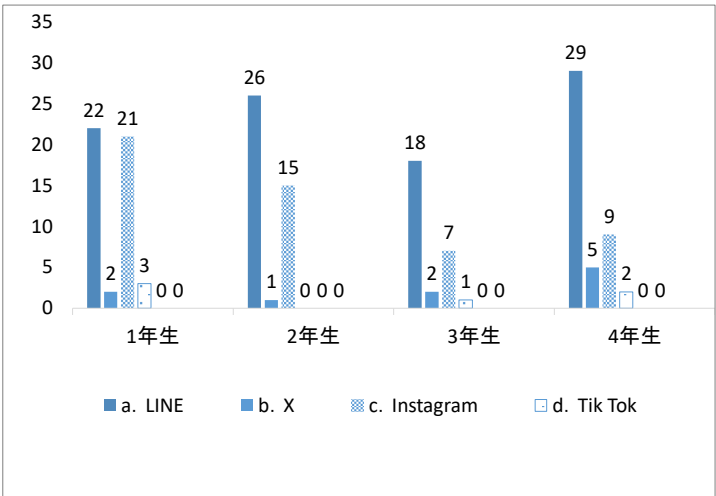
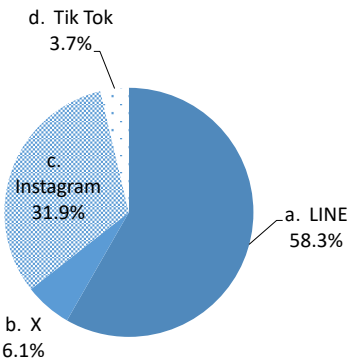
在学中のボランティア活動への参加(n= 163)



参加したボランティア内容(複数回答可) (n= 75)

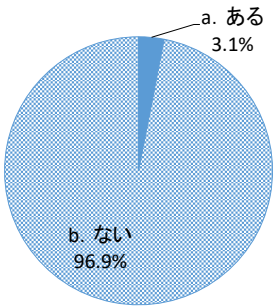


利用頻度の高いソーシャルネットワーク (n= 163)

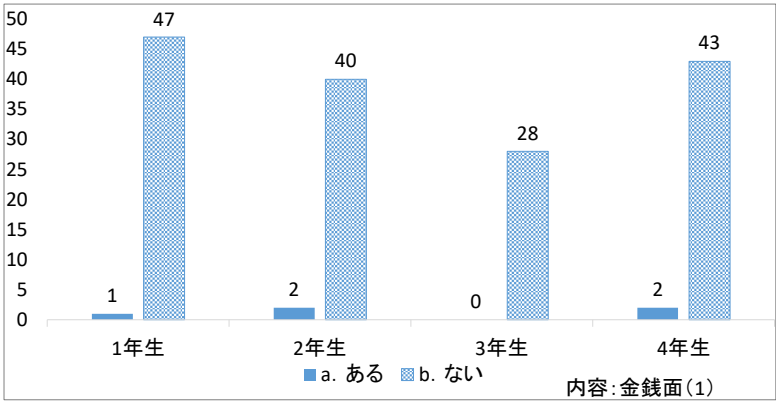


SNS利用上のトラブルの経験(n= 163)

全学年

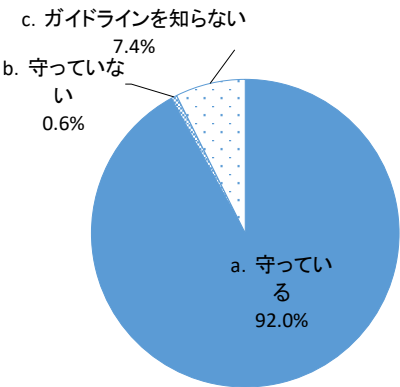


学年別

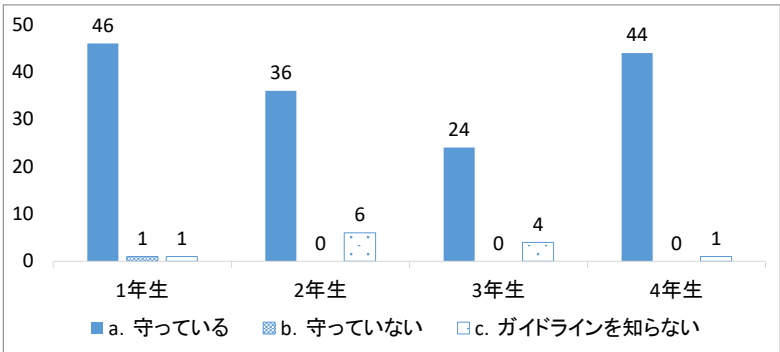


本学のソーシャルメディア利用ガイドラインの遵守(n= 163)

全学年

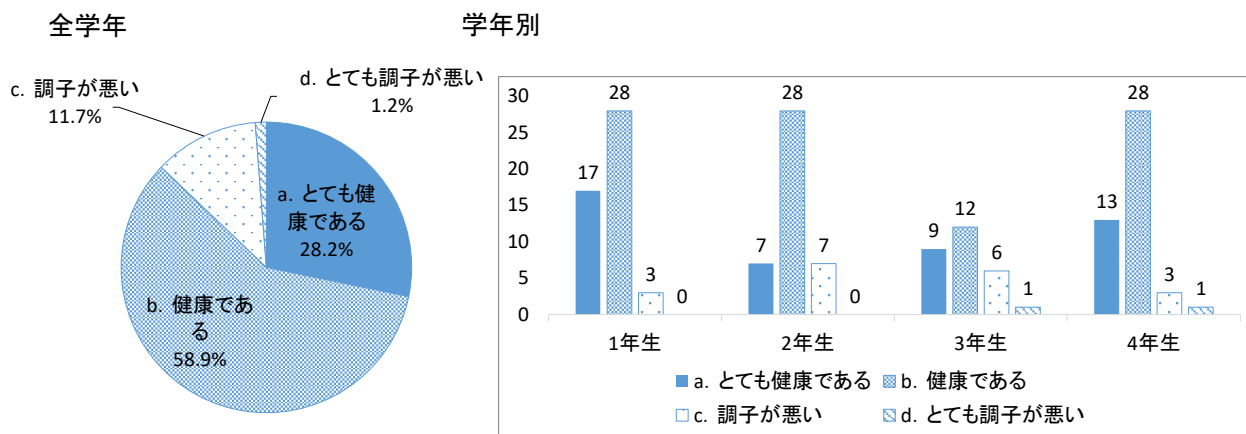


学年別

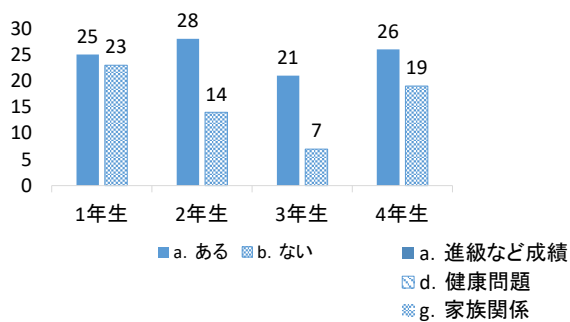


VII心身の状況

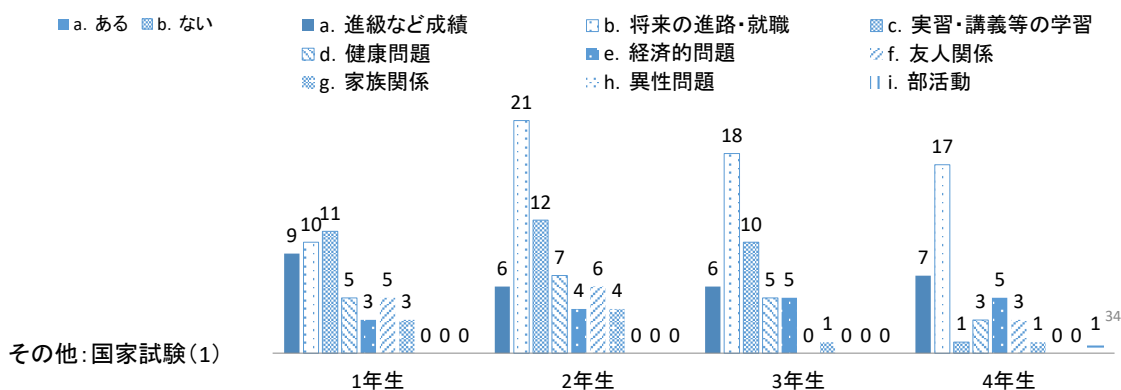
心身の健康状態(n= 163)



悩みや不安の有無(n= 163)

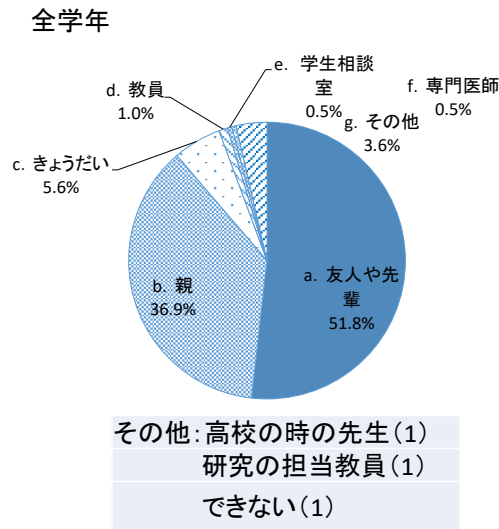
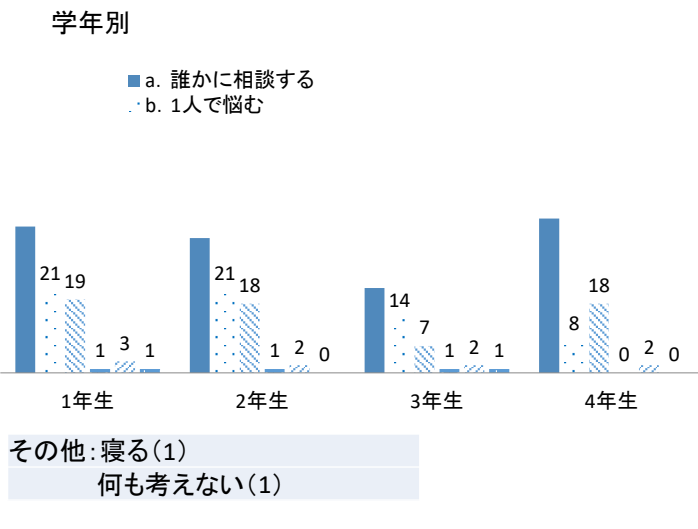


悩みや不安の内容(n= 88)



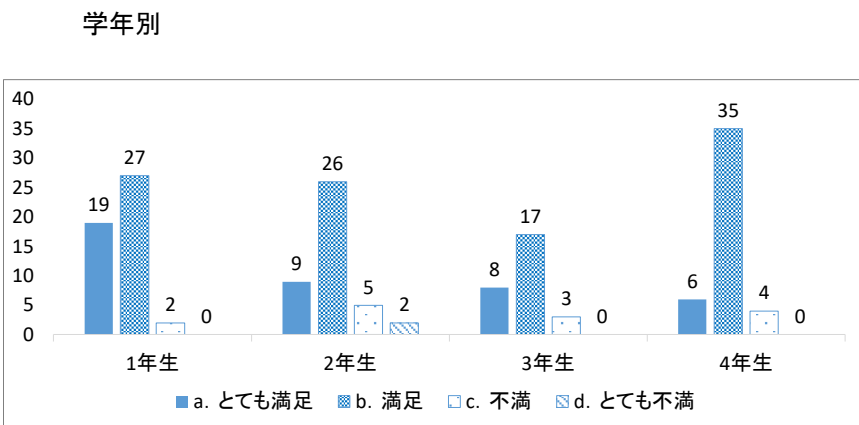
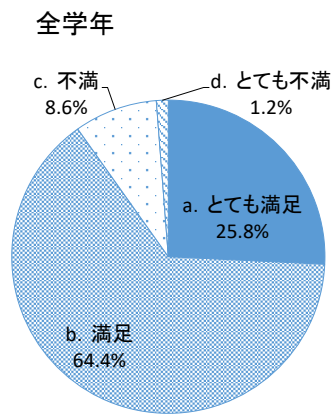
不安や悩みの対処方法(n=163)

不安や悩みを相談する人(n=163)



Ⅷ. 学生生活全体について(n=163)

学習内容に対する満足度



学習内容に対する満足の理由

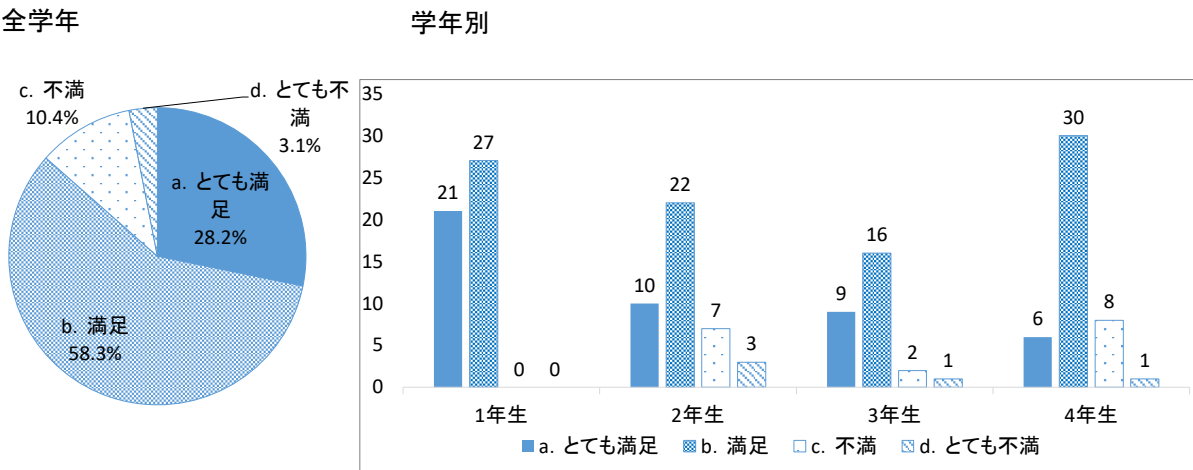
1年生	課題が多すぎる
	演習が充実している
	充実度が高いから
	看護について楽しく学んでいる
	機材などが豊富に用意されている
	楽しく、身につけていると実感することがあるから。
	看護を深く教えて頂けるから。学習環境が充実しているから。
2年生	学生に対する教員の数が多く、質問しやすい環境が整っているから
	地域看護の科目では保健師のような内容が多く、負担が大きい。
	内容の濃い授業を受けれている
	連絡が遅い(2)
	学ぶことは楽しいが、量が多く大変
3年生	課題は多くて大変ですが、先生方が丁寧に教えてくださるため。
	実習記録に対応できるくらいの知識量は得られていると実感しているため
	大変なこともあるが毎日成長していることが感じられて楽しいから。
4年生	必死に3年間乗りこえてきているから
	課題が多かった
	どの先生方も優しく、丁寧に指導して下さるから。
	4年間を通して看護学をしっかり学べたと実感している

学習内容に対する不満足の理由

1年生	授業数が多いと感じる
2年生	出欠確認を紙で行うと来てない人が出席にもでき、公平性が保てていない 授業スタイルの変更により、先生も模索しながらやっているため授業延長が多かったり、内容が分かりにくかったりする。
	先生間のコミュニケーションが取れておらず、課題の疑問点について聞いた時に、皆んなから違う答えが帰ってくるため、正解がわからない。
	学内での演習で髪色の指定があったり、動画で良いものをVRIにしたりと納得いかないことが多い。先生の言っていることに統一がない。みんな違うことを言っていて生徒が混乱している。
	2年になってから先生のフォローがなくなったため。
4年生	課題が多い
	課題が多すぎる

Ⅷ. 学生生活全体について(n=163)

学生生活に対する満足度

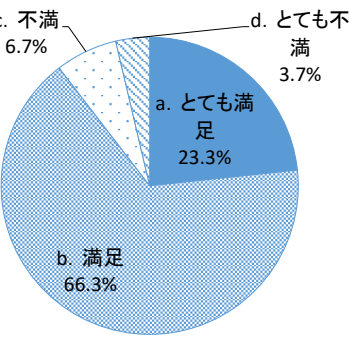


学生生活に対する満足の理由

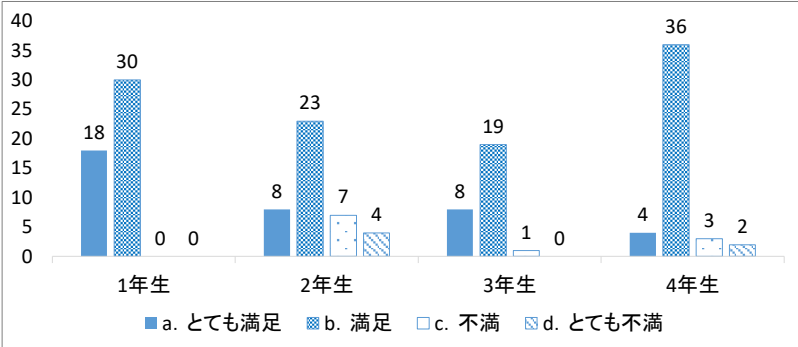
1年生	とても楽しいから
	友人と過ごす時間が楽しいから。
	楽しく学校生活を送れているから。
	勉強とボランティア、そしてアルバイトなど様々な経験がてきて、充実しているから。
2年生	学業と遊びを両立できているから
	課題が多いのは仕方ないが、2年後期になってから提出期限が早すぎるものが増えた。オンデマンドなどは、提出期限を1週間後までにしてほしい。
	大学生っぽいから
	人間関係がめんどくさいのと課題が多すぎるため。
	生活が充実している
	忙しい
	友人と共に過ごすことができるのは楽しい
3年生	同級生の空気がよくみんなで助け合いながらテストや実習を乗り越えられているため。
	学生間で仲が良く、和やかな雰囲気だから。
	楽しく学生生活を送ることができているから
4年生	4年生の肩身が狭いが、狭いなりに同学で楽しんでいるため
	遊び、勉強、バイト、恋愛等々全てバランスよく実施できているから。

教員の対応に対する満足度(n=163)

全学年



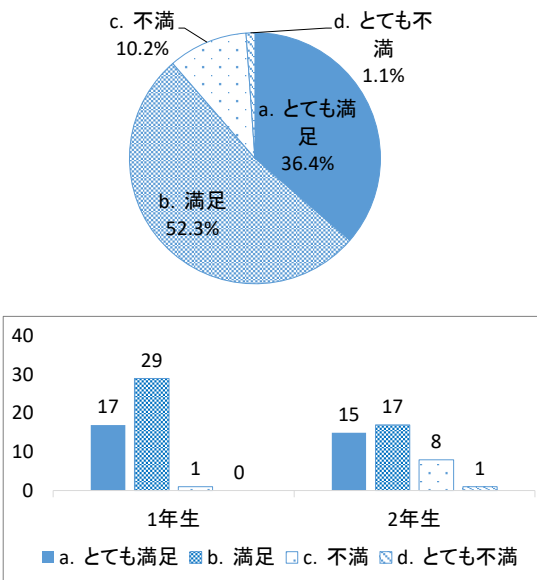
学年別



教員の対応に対する満足・不満足の原因(複数回答可)

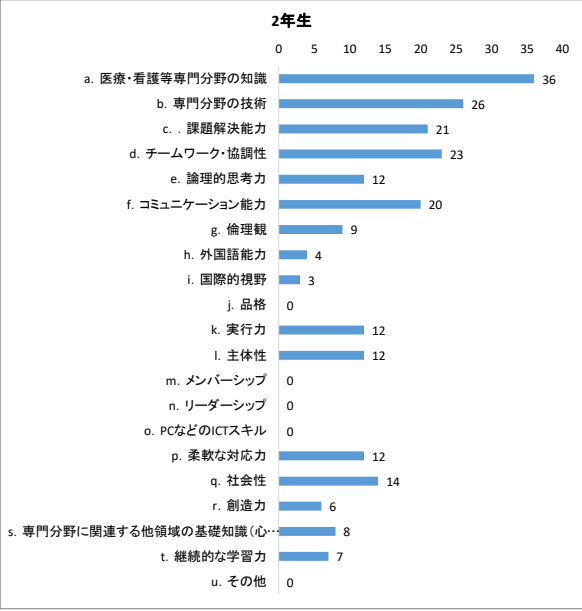
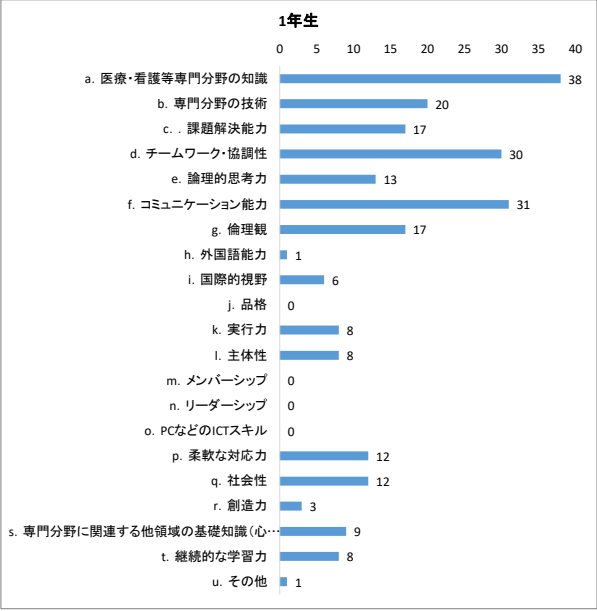
とても満足・満足	
1年生	授業がわかりやすい
	演習などで工夫したほうが良い点など詳しく教えてくださる。
	わからなかったことも、個別に対応してくれるから。
2年生	悩みも相談も丁寧に対応してくださるため。
	満足な人と満足でない人がいるから
	丁寧
	人によって差がある
	親身に接してくださるが、時間が取りづらい
不満・とても不満	
2年生	授業の遅刻や課題提出期限に厳しいのにも関わらず、先生は自分がアポを取ると言っても取っていなかったり、授業時間を大幅に延長したりする。先生同士の情報交換がうまく行っていないくて何度も混乱させられた。
	特に何も無いが、課題を出すタイミングが他の科目と被り地獄のようなときがある
	1限と4限で対面授業が入ることがあったため、時間割の組み方を少し考えてほしい。

7. アドバイザー制度への満足度(n=88)

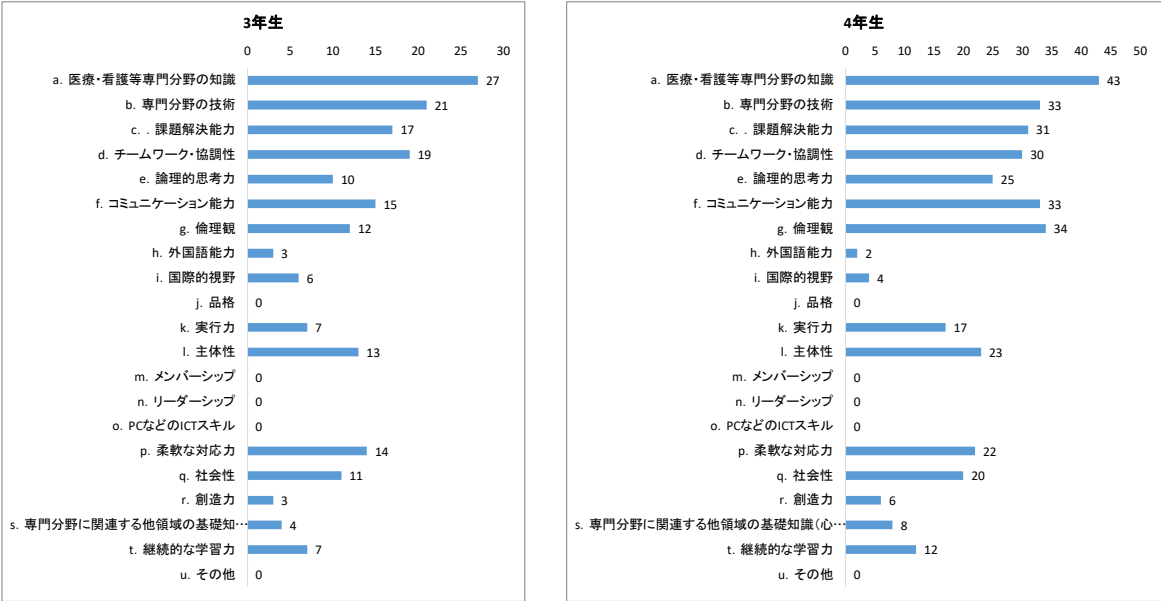


理由	
満足	
1年生	不安を解消できる
	優しいから。
2年生	何かあると、相談にのってくれるから
	アドバイザーの先生は何でも私の話を否定せずに聞いてくれる。的確なアドバイスをくれる。
	相談するか悩むことを話す機会になる
	相談しやすい環境であるが、頻度が少ない
2年生	先生と話す機会が定期的にあることで、疑問や悩みを気軽に相談できるため。
不満	
2年生	あまり意義を感じられなかった。
	やってないから
	回数が少ない
	先生の印象が悪く、先生を変えて欲しかった。
	1年生の前期のみ面談を実施し、1年後期は面談したい人が連絡するようメールがあり、2年からは連絡もない

Ⅷ. 入学後の大学生活で身についたと思うこと(n=163)



VIII. 入学後の大学生活で身についたと思うこと(n=163)



考察

I. 基礎データ

学生は東京都および隣接する県から通学しており、14.1%の学生が一人暮らしをしながら学生生活を送っている。

II. 学習状況は、日々の予習・復習時間が1時間未満の学生が60%以上を占めた。

- 学年によるばらつきがみられるが、学年進行とともに授業以外の学習時間は減少しており、試験前に集中して学習に取り組む傾向から、国家試験受験に向け、学習の習慣化を促したい。

III. 経済状態では、90%がアルバイトをしており、1か月の収入は5～10万円が49.7%を占め、就業時期は臨地実習開始前の1～2年生の間が多い。

- アルバイト収入の金額と生活費の金額は同様の傾向があり、生活費に充てている状況が推察された。奨学金を受給している学生は22.1%おり、経済状態が厳しいと回答した学生が昨年度同様の15.6%いる。実習期間中のアルバイトの制限に伴う影響から、1,2年生の時期に取り組む傾向がある。社会的な物価高騰の影響があると推察され、学生生活がハードな状況が浮き彫りとなった。
- 支出の中で調整が可能な費用は交際費と洋服が61.5%、食費34.6%であった。青年期の心身の健康を保持するため栄養バランスの重要な時期であり、注視していきたい。
- アルバイトは平日週3日以内の割合が高いが、一部、30時間と勤務時間数の多い学生がおり、学生生活とのバランスを維持が課題とされる。

IV. 1日の睡眠時間が、平均6時間未満の学生が63.2%であり、学年間で同様の傾向がみられた。自宅でパソコンを使用する時間は2～6と2時間未満が47.9%であった。

- ・健康日本21では成人は1日6時間以上の睡眠を推奨している。睡眠とメンタルヘルスの関連が指摘されているが、自宅での学修時間とアルバイト、部活動のバランスを取り、睡眠時間を確保できることが望ましい。
- ・自宅でPCを使用する時間は、学年が上がると増える傾向がみられた。登校授業の増加と実習期間中の自宅学習により変化していると推察される。

V. 本学では、学内の部活動に参加する学生が多い。

2023年度部活動が再開に伴い、特に実習の影響が少ない1, 2年生が活動に参加している状況が示された。学生は目的をもち活動に参加しており、先輩後輩や友人関係の良さと楽しさを感じるなど、肯定的にとらえる学生が昨年度より増加した。3,4年生で実習中の活動制限に対する否定的意見があり、コロナ禍の影響が続く学年の傾向が明らかとなった。

VII. 心身の健康状態の調子が良い学生が86.4%、悪い学生が11.7%であり、自由記載には睡眠時間の短さ、心の不調が多くを占めた。

- ・悩みや不安の内容は、成績や進路、授業に関わる内容が多い傾向ある。教員のサポートとともに、学生相談室の利用などサポートが重視される。

VIII. 学習内容を満足に感じている学生90.2%、学生生活に満足と感じている学生は86.5%であり、昨年度とほぼ同様の傾向にある。

- ・昨年度に比べ、否定的な意見が減少、肯定的意見多く上がっており、制限緩和や登校授業での教員との直接的なコミュニケーションにより学生のニーズへ対応されていると推察される。

VIII. 入学後の大学生活では、医療看護の専門知識とともに、DPIに関連する能力が身についたという回答が多く、学年進行に伴いコミュニケーションや論理的思考力がつく傾向がみられた。

- ・3年～4年生の実習や看護研究での学修により4年生に延伸する要素と延伸がみられない要素があることは今後の検討事項である。